

機能分化と人口問題の先進地 三浦半島で学ぶ!

総合診療 Second Carrier プログラム

■プログラムのGoal

- ① 長寿社会に求められる総合診療力を身につける
- ② 地域包括ケアシステム時代の“社会資源の活用ノウハウ”を習得する

■参加いただく医師像

- ① 免許取得後15～25年程度
- ② 内科・外科などの専門医として活躍してきた
- ③ 今後のキャリアとして、診られる幅の広い「総合診療」を志向する
- ④ 急性期病院に勤務する医師

■修了後の活躍の場

地域病院の総合診療科や内科で勤務、ファミリークリニック開業など

■プログラムの骨格

- ① 研修期間は2年を原則とします
- ② 下記の6領域を中心に、臨床経験と希望に応じた領域を組み合わせオーダーメイドで組み立てます
1) かかりつけ外来、2) プライマリ救急、3) 高齢者の複合的疾患の入院管理
4) リハビリテーション、5) がん終末期患者の外来・在宅・緩和ケア病棟の一貫した緩和ケア
6) 在宅療養する高齢患者と特養入所者への訪問診療
- ③ これまでの経験や希望に応じて、期間の変更(短縮・延長)が可能です
- ④ 6つの領域に加えたオプションとして、研修期間を延長し、連携医療機関での小児科外来、認知症診療、口腔衛生・嚥下領域の研修を追加することができます

【プログラムの例】

前半の12ヶ月

衣笠病院で、様々な臨床場面を経験
【かかりつけ外来、プライマリ救急、複合的疾患の入院管理、リハビリテーション】

後半の12ヶ月

附属在宅クリニックで、在宅ベースの地域包括ケアを経験
【外来・在宅・緩和ケア病棟の一貫した緩和ケア、自宅や特養への訪問診療】



■プログラム修了者のDegree

- ① 研修期間中に受検料当院負担で日本プライマリ・ケア連合学会の「プライマリ・ケア認定医」を取得
- ② 同じく全日本病院協会「総合医育成事業」を修了し「全日本病院協会認定総合医」を取得

■研修中の身分

- ① 社会福祉法人日本医療伝道会の常勤医として雇用契約
※ 社会保険および院内保育所利用などの福利厚生は常勤職員と同様
※ 衣笠病院での当直業務、附属在宅クリニックでのオンコール業務があります
- ② 待遇は医師免許取得後年数に基づく固定給 + 取り扱い患者数に基づく出来高給
- ③ オプションの外部研修中は派遣先の非常勤医として従事します
- ④ 育児・介護等の制限がある場合は、研修期間を延長して時短や曜日限定勤務が可能です



社会福祉法人 日本医療伝道会 衣笠病院

〒238-8588 横須賀市小矢部2-23-1

担当：事務部長 行谷（なめがや）

TEL : 046-852-1182

E-mail : namegaya@kinugasa.or.jp